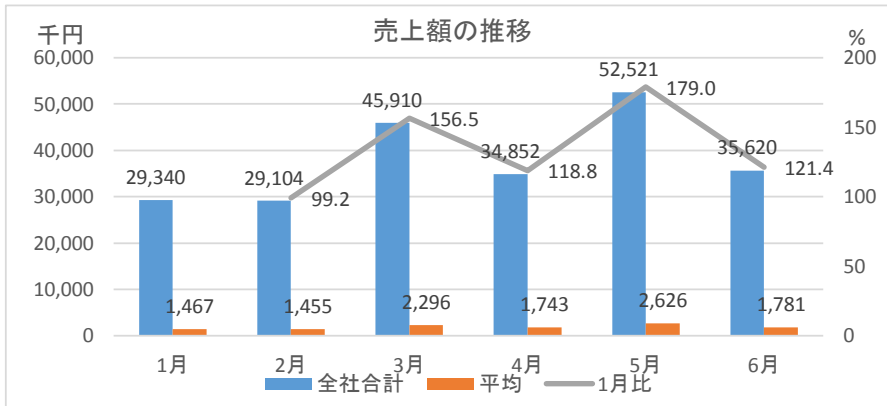


中能登町商工会小規模事業者景況調査結果（調査期：平成29年1月～6月）

前年同期比は、今期と平成28年1月～6月との比較
来期見通しは、当期と比較した平成29年7月～12月の見通し
対象企業：卸・小売業5社、サービス業5社、製造業6社、建設業4社

1. 今期の売上額（平成29年）

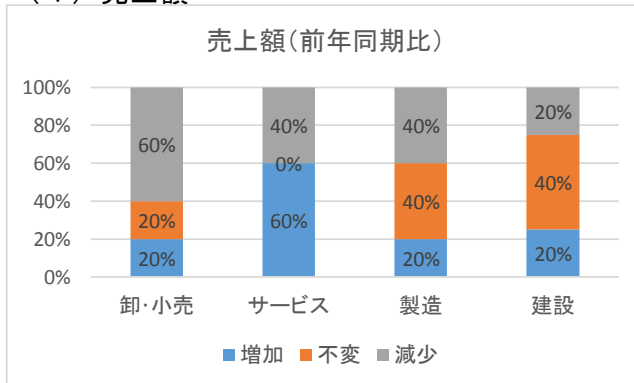
1月を100とした場合の売上額の推移



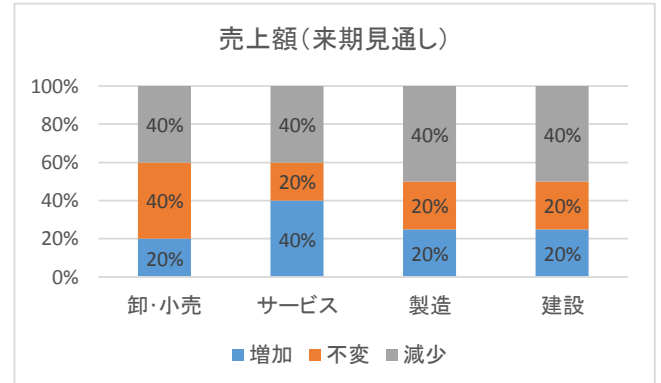
1月を100とした全社売上額合計は、3月が約1.5倍、5月が約1.8倍で右肩上がりに増加した。

2. 平成29年1月から6月期の状況

(1) 売上額

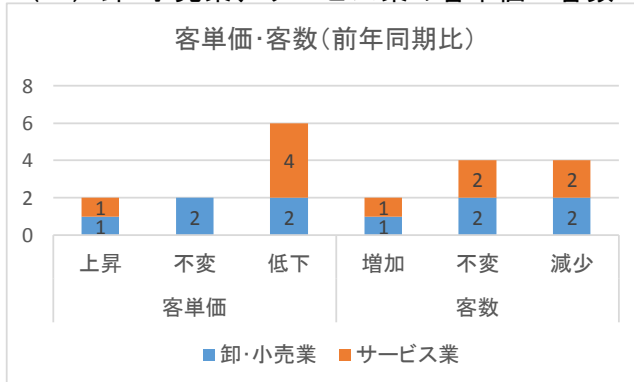


前年同期比で増加が多いのは「サービス」で、減少が多いのは「卸・小売」であった。

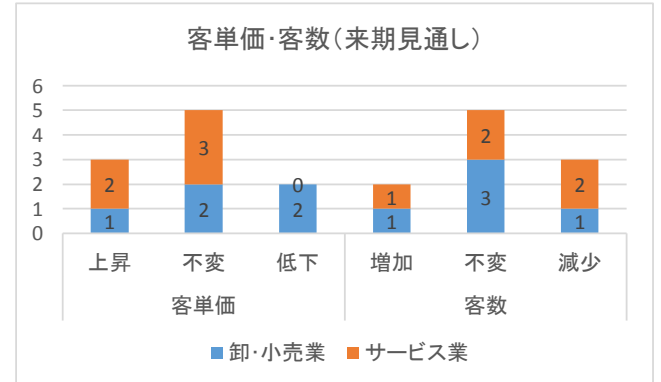


来期見通しでも増加は「サービス」が多い。

(2) 卸・小売業、サービス業の客単価・客数

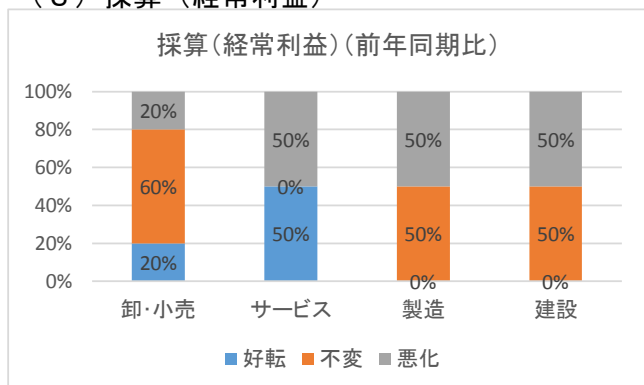


客単価は、「サービス」で低下が多く、客数は業種の差はないが、不変か減少が多く、前年同期と比較して低調であった。

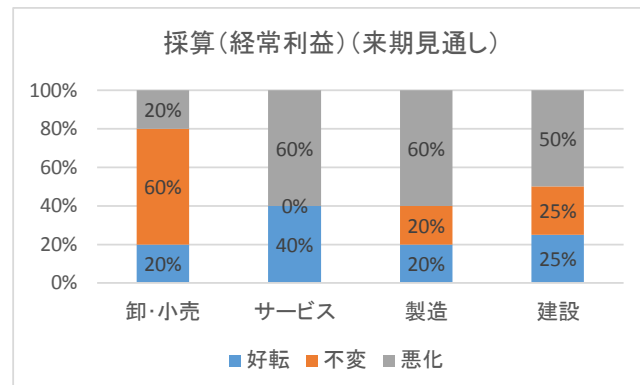


来期見通しは、「サービス」で客単価の改善を見込んでおり、客数は、「卸・小売」、「サービス」とも、ほとんど変化がない。

(3) 採算（経常利益）

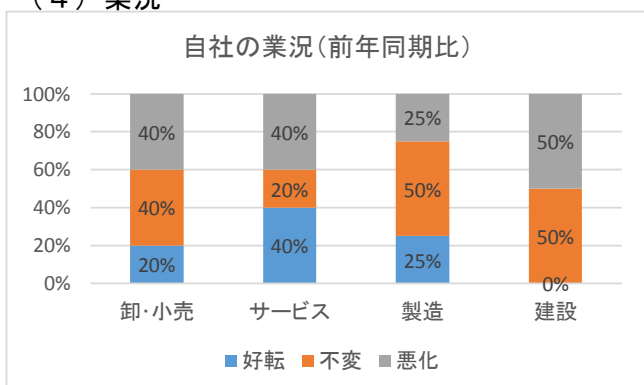


採算は、前年同期に比べ、「サービス」で好転が多い。「製造」、「建設」とも好転はなく、不変、悪化が同数であった。

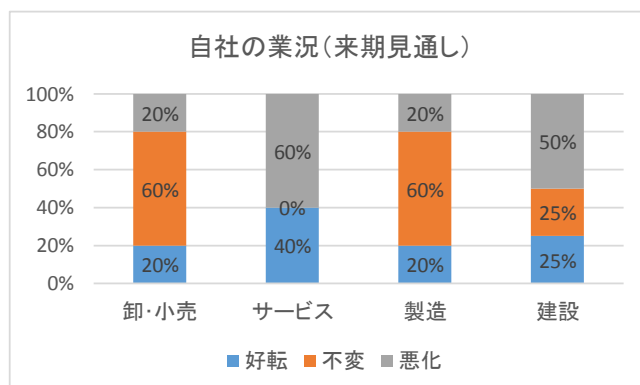


採算は、「卸小売」で不変が多く、「サービス」、「製造」、「建設」は悪化が最も多い。

(4) 業況



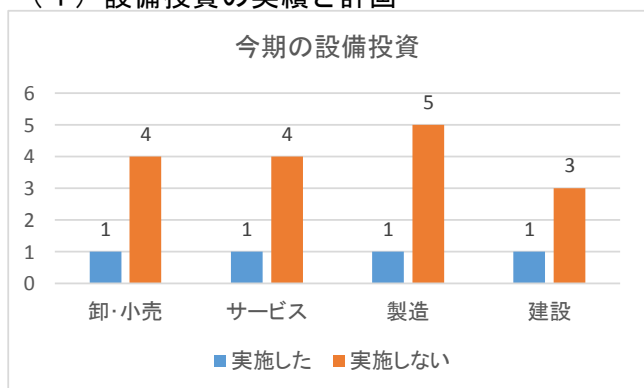
前年同期に比べ、「サービス」で好転が多い。「製造」、「建設」とも好転はなく、不変、悪化が同数であった。



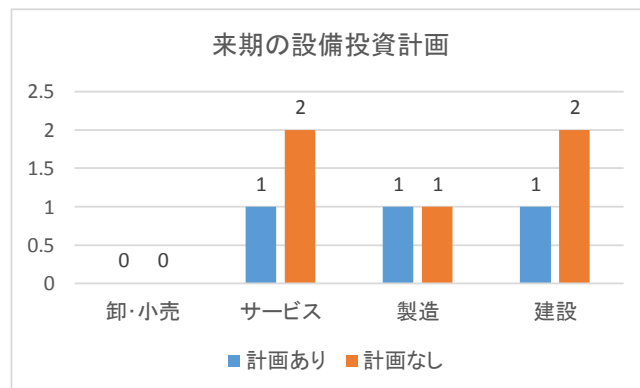
来期見通しは、「サービス」で悪化が増加した。他業種は大きな変化はない。

3. 設備投資の状況

(1) 設備投資の実績と計画



全業種で1件が設備投資を実施した。



卸・小売以外は、設備投資計画が1件ある。

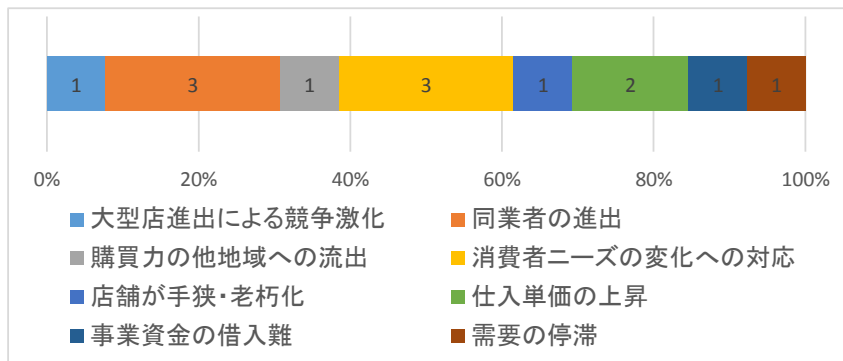
(2) 設備投資内容

- ・販売設備（卸・小売業）
- ・サービス設備（サービス業）
- ・生産設備（製造業）
- ・建設機械、車両等、パソコン・事務機器等（建設業）

4. 今期直面する経営課題

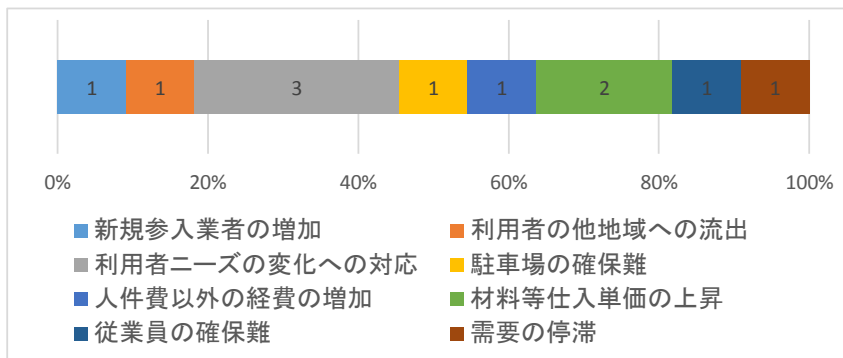
※複数回答

(1) 卸・小売業



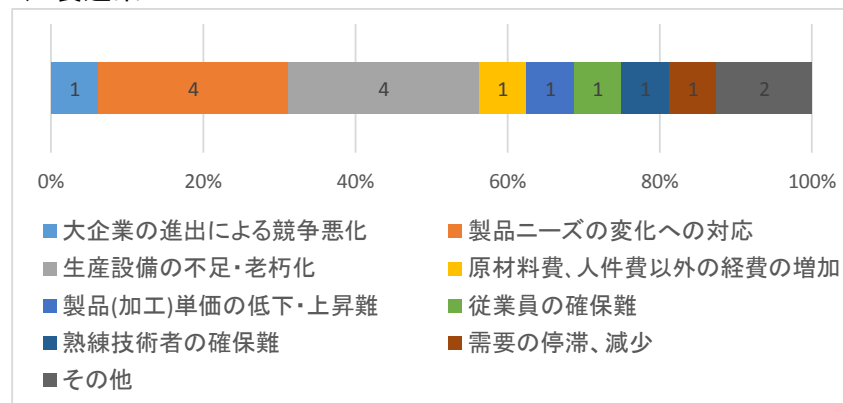
「同業者の進出」と「消費者ニーズの変化への対応」が同数で、「仕入単価の上昇」が続いている。

(2) サービス業



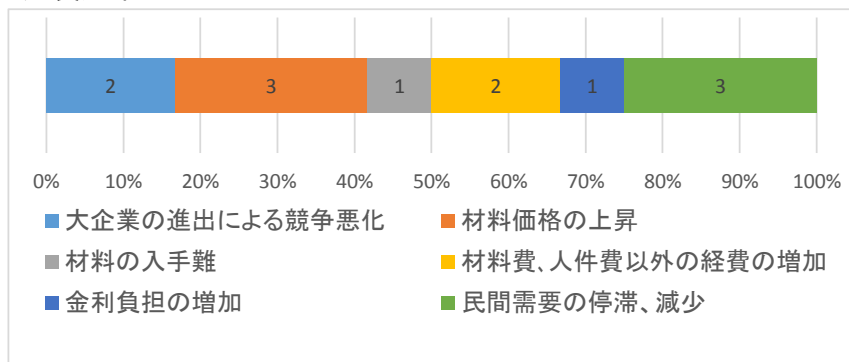
「利用者ニーズの変化への対応」が最も多く、「材料仕入単価の上昇」が続いている。

(3) 製造業



「製品ニーズの変化への対応」と「生産設備の不足・老朽化」を上げる企業が多い。

(4) 製造業



「材料単価の上昇」、「民間需要の停滞、減少」が同数で最多。「大企業の進出による競争悪化」、「材料費、人件費以外の経費の増加」が同数で続く。

5. 今期の業況について

- ・人口減少、少子高齢化が経営に影響 3件
- ・原材料の高騰で収益が悪化
- ・販路開拓のため、オリジナル商品を開発している
- ・インターネット販売を開始し、売上、利益とも増加
- ・DM等販促事業で来店頻度増加

人口減少などによる需要の減少は、大企業や同業者等との競合に遭い、経営資源の限られる小規模企業が受ける影響は大きい。一方で、顧客ニーズや自社の強みを把握し、PR活動を行いながら、新たな市場の開拓や、新たな商品の開発、取扱いに取り組む事業者は、効果を上げている。